

教員交流研修概要

目的

本事業における教員研修は、SDGs や ESD、グローバルシチズンシップ教育といった学習活動とクリエイティブ学習（技能教科を活用した学習やメーカー教育）を統合的にカリキュラムに組み込む上での学習活動となります。本研修を通して、学内におけるグローバル教育やクリエイティブ教育の実践面での推進役となり、次年度以降のカリキュラム構築や学校全体でグローバル教育を推進する体制構築に寄与することを目的とします。また、実践活動や研究結果を広く全国、地域におけるグローバル教育の推進に向け広報していくことを期待しています。

教員研修プログラムについては、

ア) **国内研修**：日本全国からの教員、指導主事間による協働学習及び実践（可能な場合）

イ) **海外研修**：アメリカ合衆国及びブラジル合衆国、日本の教員間による事例共有、政策提言の作成で構成されます。

（イ）については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、アメリカ（カリフォルニア州）またはカナダでの対面型研修またはオンラインによる遠隔研修とします。

参加者募集要項

① 対象

公立及び私立小学校、中学校、高校及び都道府県教育委員会より

- ・教育委員会指導主事（教育行政）
- ・教務担当及びカリキュラム策定に関わる教員・管理職（各種学校）
- ・技術、家庭、情報、美術、音楽、体育等教科担当教員 など

② 参加要件

- 原則として、全日程に参加できること
- 所属長からの承認を得て参加できること
- 事業の成果を学内、地域内及び教員研修や学会での発表や実践など、普及する意思のある者
- 国内研修はオンライン研修のため、一人一台の PC デバイスの接続環境にあること
- （海外研修参加対象者のみ）アメリカ・ブラジルの教員間で英語での意見交換ができること

③ 開催時期

（ア）国内研修（オンライン研修）

令和 2 年 10 月～令和 3 年 2 月の間でオンライン研修を 5 回程度（参加教員による自主的なグループ活動は含まない）

（イ）海外研修（渡航による対面研修）

国内研修に加えて、令和 3 年 1 月中下旬（予定）より 9 日間の日程で渡航（カリフォルニア州パロアルト滞在を予定）研修参加者の中から希望者を派遣予定。

※ 海外研修については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインでの交流研修に切り替えて実施する可能性がある。

④ 定員

（ア）国内研修参加者 12 名

（イ）国内+海外研修参加者 6 名

計： 18 名

※ 海外研修参加者については、各教育委員会、もしくは教育機関より国内研修のみ参加者 1 名と、国内+海外研修参加者 1 名の 2 名単位で参加いただける機関からの参加者を優先とする。国内研修のみの参加については各機関・学校より 1 名のみの参加も可能。

- ⑤ 使用するデバイス環境
- PC 及びインターネット通信環境
 - Google Classroom
 - Zoom
- ⑥ 締め切り
2020年10月16日（金）17時まで
- ⑦ 応募方法
以下のリンクまたはQRコードからフォームに記入のこと（直接当社団への応募となります）
<https://j-gift.org/24355-2/>



- ⑧ その他
応募者多数の場合は、学校区分・教育行政、科目、地域等のバランスを鑑み選考いたします。

研修日程（案）

① 国内研修（国内研修、海外研修参加者全員対象＜最大18名＞）

10月中	参加者確定、事務連絡及びオンラインによる自己紹介、事前課題
11/8（日） 13:30～17:00	第一回研修（全体セッション） 事業趣旨、チームビルディング
11/22（日）予定 13:30～17:00	第二回研修（全体セッション/後日配信参加可） SDGs x 教育、クリエイティブ学習体験（アドバイザーや今回のチームによる実践の体験か紹介を予定。）
12/6（日）予定 13:30～17:00	第三回研修（全体セッション/後日配信参加可） 学習プログラムまたはカリキュラム計画
12/13（日） 13:30～17:00	第四回研修（全体セッション） 実践活動またはカリキュラム案の共有、フィードバック（アドバイザー）→各校・地域の文脈を踏まえて推進のための戦略を考える
2/11（木・祝）	第五回研修（全体セッション） 海外研修参加者からの成果共有会 完成、各参加者は地域内の推進プランを考え、共有

*各セッションの前には動画教材や事前リーディング等の個別学習、及び小グループ別のグループワークを含む

② 海外研修（海外研修参加者6名）

12月	オンラインにて事前共有 アメリカ、ブラジル教員チームとのオンラインによる自己紹介、事前課題（紹介は全体で、その後小グループでのオンラインディスカッション）
1/23（土） 13:30～17:30 1/24（日） ～1/31（日）	出発直前研修 3カ国参加者による研修 ※渡航研修を前提にしたプログラムだが、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインでの研修に切り替える可能性あり。 ・アドバイザー、アメリカ・ブラジル機関による講義または概況説明

	<ul style="list-style-type: none"> ・動画等での各学校の実践事例、カリキュラム・単元の共有 ・グローバル教育・クリエイティブ教育の統合による学習効果の共有 ・チーム別ダイアログ ・Transformative Education の重要性について、他校や他地域で推進するための戦略について意見交換（ディスカッションボードにて）
2/13（土） 8:00～10:00	成果総括セッション（オンラインにて全体セッション） （可能であればリアルタイム）G20 への提言書の作成 提言書ドラフトのレビュー（全体） 完成、各参加者は地域内の推進プランを考え、共有
3 月	（各自）参加者による、各校、地域や事業成果報告会、学会等で事例や提言の発表を行う

* 提言書完成後、事務局及びプロジェクトチームで研究成果と提言書を含めた報告書の作成、提出を行う（2月28日締め切り）

海外研修で交流対象となる国、教育機関等

連携教育機関：スタンフォード大学教育大学院及び Design Tech High School（仮）

参加教育機関：カリフォルニア州公立学校、サンパウロ州立 EMEF Fernão Dias Paes、Mirante Cultural

本事業実施にあたって連携する機関（教育委員会、学校、関係団体、国際機関等）

事業実施全体で連携する機関：慶應義塾大学メディアデザイン研究科 KMD Global Education Project 及びスタンフォード大学教育大学院 Goldman 教授

研究にあたって連携する機関：国連教育科学文化機関 (UNESCO) アジア太平洋地域教育局（バンコク事務所）、シンガポール国立教育研究所 (NIE)

本事業運営委員会・事業アドバイザー

- 慶應義塾大学メディアデザイン研究科 Global Education Project（共同実施機関）
大川恵子教授、前川マルコス貞夫博士
- 聖心女子大学教育学部 永田佳之教授
- 玉川大学教育学部 小林亮教授
- 立命館小学校 正頭英和 ICT 教育部長

事業実施体制（GiFT）

- | | |
|-------------|-----------------|
| （事業総括）辰野まどか | 代表理事 |
| （事業総括）木村大輔 | 調査・研究統括 |
| （事務局）福田美穂 | 事務局長 |
| （事務局）鈴木沙織 | グローバル教育コーディネーター |

【お問い合わせ】

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト（GiFT）

メール：info@j-gift.org 電話：03-4577-6767

以上